

うめのき幼稚園だより

令和6年1月9日
北区立うめのき幼稚園

げんきもりもり

えがおにこにこ

ひとみきらきら

1月

春を待つ小さな芽

園長 篠澤 恵理

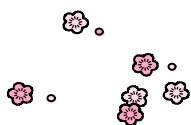
園庭の樹木をよく見ると、枯れているように見える枝の先にも小さな芽があります。春になったら葉や花を出そうと、冬の寒さをじっと我慢している様に思えて、応援したくなります。木の冬芽を拡大して撮影した写真絵本「ふゆめ がっしょうだん」福音館書店発行（写真＝冨成 忠夫・茂木 透、文＝長 新太）には、身近な木々の冬芽を、顔のように見立てながら、リズムカルな詩が添えられています。この写真絵本に出会ってからは、冬の楽しみとして枝先までよく見るようになりました。

しかし、忙しく日々を過ごしていると、見逃していることも多いと感じます。新年を迎え、立ち止まってじっくり見る気持ち呼び起こしているところです。

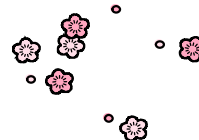
さて、12月に開催した「うめのき劇場」では、子どもたちの合唱や合奏の後に、保護者による歌の披露もありました。保護者有志作成の新曲「毎日 笑顔を ありがとう」では、うめのき幼稚園で見つけた大好きな出会いや、我が子への愛情に満ちた内容で、温かく心に残るひとときとなりました。歌詞には、「つつい気になる、一人でできるのに。」「ガミガミ言っちゃう、大好きなのに。」と、子どもたちの成長を感じながらも、一言多く我が子に伝える親心が語られ、「頑張る気持ち 知ってるよ。大好きだよ。」「毎日笑顔をありがとう。」と結んでいます。親として一生懸命に子育てをしながら思い巡らすことを素直な言葉で振り返り、今日の前にいる子どもの笑顔に励まされていると実感する素敵な歌です。子どもたちが嬉しそうに聞いていて、親の愛情が伝わったことに、とても感動しました。子どもたちが蓄えてきた力を信じる気持ちを確認するこの歌は、「子育ての応援歌」だと感じています。

春を待つ小さな冬芽を面白がって見付けてみようとするような、ゆったりとした気持ちは、子育てにも生かしたいものですね。新しい年も、愛情豊かに子どもたちに関わってまいりましょう。

保護者の皆様、地域・園関係者の皆様、本年もどうぞよろしくお願いいたします。



えがおにこにこコーナー



【大根の収穫&描画】



【うめのき劇場】



9月に蒔いた小さな種は、3ヶ月の時を経て、立派な大根になりました。大根の太さや形の違いに歓声を上げました。青空の下で大根の絵を描きました。一人一人の表現は、みんな違ってみんな素敵でした。ブロッコリーやキャベツも元気に育っています。冬の自然も楽しみが満載です。